

令和 6 年 6 月 19 日現在

機関番号：17201

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2021～2023

課題番号：21K10671

研究課題名（和文）看護師長による看護師の継続意思につながる基本的心理欲求支援プログラムの開発

研究課題名（英文）Development of a Basic Psychological Needs Support Program Leading to Nurses' Continued Intention by the First line nurse manager

研究代表者

坂本 貴子（Sakamoto, Takako）

佐賀大学・医学部・准教授

研究者番号：90758426

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 1,100,000円

研究成果の概要（和文）：国内外の文献調査と中小規模病院に勤務する看護師を対象とした質的調査から、中小規模病院に勤務する看護師の継続意思につながる基本的心理欲求を選定した後、看護師の継続意思につながる基本的心理欲求を基盤として、全国の中小規模病院に1年以上勤務する看護師1500名を対象に調査を行い、信頼性妥当性のある看護師長による看護師の継続意思につながる基本的心理欲求支援評価尺度を開発した。その後、看護師長による看護師の継続意思につながる基本的心理欲求支援評価尺度内容をもとに、問題解決技法を基盤とした看護師長臨地で実践できる看護師の継続意思につながる基本的心理欲求支援プログラムを構成する要素を精選した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究の結果は、中小規模病院に勤務する看護師の継続意思の促進や看護師長の看護師定着に関する看護管理教育の基礎資料となり、中小規模病院に勤務する看護師の定着促進や、看護師長の人材育成能力の向上に関して具体的な方略が提案できる。本研究の結果は、本邦のみならず看護師不足を課題としている諸外国の看護管理領域においても波及効果が期待できる。

研究成果の概要（英文）：Based on a domestic and international literature survey and a qualitative survey of nurses working in small and medium-sized hospitals, we selected the basic psychological needs that lead to the nurses' intention to continue working in small and medium-sized hospitals. After selecting the basic psychological needs that lead to nurses' intention to continue working in small- and medium-sized hospitals, we conducted a survey of 1,500 nurses working in small- and medium-sized hospitals nationwide for at least one year based on the basic psychological needs that lead to nurses' intention to continue working in small- and medium-sized hospitals, and developed a reliable and validated assessment instrument to evaluate nurses' basic psychological needs support by the head nurse that lead to nurses' intention to continue working. The psychological needs support rating scale was developed.

研究分野：看護管理

キーワード：看護師の定着 看護師長 基本的心理欲求 中小規模病院

1. 研究開始当初の背景

地域包括ケアシステムの実現には、地域医療の中心を担う中小規模病院が、効率かつ効果的に医療を提供することが重要である。一方で、中小規模病院における看護師の離職率は高値であり、看護師の量と質の確保は喫緊の課題である。

応募者らは、看護師の職場における継続意思には看護師長の支援が影響しており、看護師長から支援を受けた看護師が、職場において自律して仕事をする、仕事を通して自己を有能だと感じる、職場の人間と良好な関係を築くことが有用であることを明らかにした。自己決定理論によると、このような自律性欲求（自発的に行動を起こしたい欲求）、有能性欲求（自分自身の能力を認めたい欲求）、関係性欲求（人とのつながりたい欲求）を包含して、基本的心理欲求という。

基本的心理欲求は、充足することで内発的動機づけを生成し、内発的に動機づけられた行動は、対象に満足感などの肯定的感情を与え、その行動を継続することが実証されている⁴⁾。看護師の肯定的な感情は継続意思の直接的な影響要因であり、看護師の継続意思につながる基本的心理欲求を特定して充足することは、仕事に対する内発的動機づけを生成し、満足度など肯定的な感情を経て、仕事の継続意思につながる可能性がある。

しかし、中小規模病院に勤務する看護師を対象に、継続意思につながる基本的心理欲求は明らかにされていない。また、看護師長による看護師の継続意思につながる基本的欲求を充足する効果的な支援方法や評価に関する報告も見あたらない。そのため、現時点において看護師の継続意思に効果的な看護師長の支援を具体的に言及することはできない。

したがって、中小規模病院に勤務する看護師の継続意思につながる基本的心理欲求を選定し、それらを基盤とした看護師長による支援評価尺度の開発を行い、開発した尺度を用いて看護師長が臨地で実践できる看護師の継続意思につながる基本的心理欲求支援プログラムの開発を行うことは非常に重要である。

2. 研究の目的

本研究の全体構想は、病床数 300 床未満の中小規模病院に勤務する看護師を対象に、現在の職場における継続意思につながる基本的心理欲求（自律性欲求、有能性欲求、関係性欲求）を明らかにし、看護師長の基本的心理欲求支援に関する評価尺度を開発して、集団認知行動療法を活用し、中小規模病院に勤務する看護師長が臨地で実践できる、看護師の継続意思につながる基本的心理欲求支援プログラムの開発を行うことである。

具体的には、

(1) 文献調査と質的研究により、中小規模病院に勤務する看護師を対象とし、継続意思につながる基本的心理欲求を選定する。

(2) 選定した中小規模病院に勤務する看護師の基本的心理欲求を基盤に、看護師長による看護師の継続意思に必要な基本的心理欲求支援評価尺度を開発する。

(3) 開発した看護師長による看護師の継続意思に必要な基本的心理欲求支援評価尺度をもとに、中小規模病院に勤務する看護師長が、臨地で実践できる看護師の継続意思につながる基本的心理欲求支援プログラムを開発する。

3. 研究の方法

【第1段階（令和3年度）】

国内外の文献調査と中小規模病院に勤務する看護師を対象とした質的調査から、中小規模病院に勤務する看護師の継続意思につながる基本的心理欲求を選定する。

【第2段階（令和4年度）】

選定した看護師の継続意思につながる基本的心理欲求を基盤として、全国の中小規模病院に1年以上勤務する看護師1500名を対象に調査を行い、信頼性妥当性のある看護師長による看護師の継続意思につながる基本的心理欲求支援評価尺度を開発する。

【第3段階（令和5年度）】

看護師長による看護師の継続意思につながる基本的心理欲求支援評価尺度内容をもとに、認知行動療法における問題解決技法を基盤とした看護師長臨地で実践できる看護師の継続意思につながる基本的心理欲求支援プログラムを開発する。

4. 研究成果

【第1段階（令和3年度）】

病院に1年以上勤務する看護師の職務継続意思を成立に関わる要素を明らかにするためにアウトカムモデルを用いて先行文献を整理した。その結果、看護師の職務継続意思に関連する支援者は看護師のほかに【看護管理者】【組織】が確認できた。看護師は、看護管理者から【変革型リーダーシップ支援】【成長を促す支援】【看護の質を維持する支援】【仕事と家庭が両立できる支援】

を受けていた。また組織からは【成長できる仕組み】【管理に参画できる仕組み】【安心して看護を行える仕組み】【仕事と家庭が両立できる仕組み】に関する支援を受けていた。看護師は、職務継続意思の成立に向けて【自律した看護実践行動】【良好な人間関係を構築する行動】を行っていた。看護師の行動および看護管理者や組織から受ける支援の成果は、看護師には【満足度の向上】【組織コミットメントの向上】【仕事に自信をもつ】【仕事に達成感をもつ】ことがあり、組織には【安全で前向きな職場環境】が確認された。

【第2段階（令和4年度）】

自己決定理論を基盤に59項目を生成し、看護師1500名に本調査を行い妥当性と信頼性の検証を行った。評価者間および評価者内信頼性に関する調査は看護師40名を対象とした。探索的因子分析の結果、3因子19項目の下記の尺度を作成した。

第1因子 自律性を支援する行動 Cronbach's = .920

- Q 6 部署における役割決めについて、あなたの意向を尊重してくれる
- Q 11 あなたの今後のキャリアについて、あなたの決定を支援してくれる
- Q 1 病院内で行われる研修の参加を促す時、あなたの意向を尊重してくれる
- Q 23 あなたが他部署や他病院で得た知識を現場に活かせるように支援してくれる
- Q 26 あなたが参加している院内外での研修について、価値のある助言をしてくれる
- Q 5 あなたが権限を委譲された仕事*を行う場合、励ましてくれる
- Q 36 部署の運営に、あなたの意見が活かされている
- Q 4 あなたが担う仕事を、あなたの裁量でできるように支援してくれる

第2因子 有能感を支援する行動 Cronbach's = .876

- Q 53 部署で協調性や雰囲気悪化させる看護師に放置せず関わってくれる
- Q 55 部署における看護師の仕事の内容を公平にしてくれる
- Q 59 病院が求めている看護師像をあなたに伝えてくれる
- Q 25 あなたが実践する看護がうまく行くように、具体的な方法を教えてくれる

第3因子 関係性を支援する行動 Cronbach's = .919

- Q 16 部署でのあなたの存在を大切にしてくれている
- Q 41 いつでもあなたの相談にのってくれる
- Q 27 あなたが仕事でミスをした時、一方的に非難せず、学びの機会にしてくれる
- Q 28 あなたが部署で活躍することを期待していると伝えてくれる
- Q 29 あなたの能力に応じた業務の内容を調整してくれる
- Q 51 あなたが部署内の人と良好な関係が保てるように支援してくれる
- Q 44 あなたの家庭での役割や責任について共感してくれる

尺度全体 Cronbach's = .963

*権限を委譲された仕事とは、例えば管理職代行や夜勤のリーダー等

Cronbach's 係数は.963であり、確認的因子分析では適合性が示された。併存的妥当性は.985、弁別的妥当性は-.624、職務継続意思との関連を確認した。評価者間信頼性は有効回答率90%で、Kendallの一致係数 $W = .40 - .62$ を示した。評価者内信頼性は有効回答率100%で、相関係数は.905、重みつき係数は.799であった。

【第3段階（令和5年度）】

中小規模病院の看護師長を対象に、尺度項目をより臨地で実践できる内容について検討し、中小規模病院に勤務する看護管理者の教育プログラムの素案を構築した。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計3件（うち査読付論文 3件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 坂本貴子	4. 巻 1
2. 論文標題 中小規模病院に勤務する看護師の職務継続意思と 看護師長による基本的心理欲求支援行動との関連	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 大分県立看護科学大学博士論文	6. 最初と最後の頁 1-83
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 坂本貴子, 福田広美, 上田智之, 下條三和.	4. 巻 20(3)
2. 論文標題 看護師の職務継続意思と看護師長からの基本的心理欲求支援行動 - 中小規模病院に勤務する看護師調査 -	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 インターナショナルNursing Care Research	6. 最初と最後の頁 9 - 18
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 坂本貴子, 福田広美, 村嶋幸代.	4. 巻 41
2. 論文標題 中小規模病院に勤務する看護師の職務継続意思につながる看護師長の基本的心理欲求支援行動評価尺度の開発	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本看護科学会誌	6. 最初と最後の頁 815-823
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計2件（うち招待講演 0件/うち国際学会 1件）

1. 発表者名 Takako sakamoto , Hiromi Fukuda , Miwa shimojo , Sachiyo Murashima
2. 発表標題 Relationship between nurses' intention to continue working and the support they receive from head nurse managers to meet their basic psychological needs
3. 学会等名 The 26TH EAFONS East AsianForum of Nursing Scholars (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 坂本貴子, 福田広美, 下條三和, 吉原駿, 村嶋幸代.
2. 発表標題 中小規模病院に 1 年以上勤務する看護師の継続意思と看護師が求める看護師長による欲求支援行動との関連.
3. 学会等名 第 25 回日本看護管理学会学術集会
4. 発表年 2021年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	福田 広美 (Hiromi Fukuda) (00347709)	大分県立看護科学大学・看護学部・教授 (27501)	
研究分担者	村嶋 幸代 (Sachiyo Murasima) (60123204)	大分県立看護科学大学・看護学部・教授 (27501)	
研究分担者	下條 三和 (Miwa Shimojo) (90586299)	帝京大学・公私立大学の部局等・教授 (32643)	
研究分担者	上田 智之 (Tomoyuki Ueda) (70586320)	九州看護福祉大学・看護福祉学部・准教授 (37407)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8 . 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------